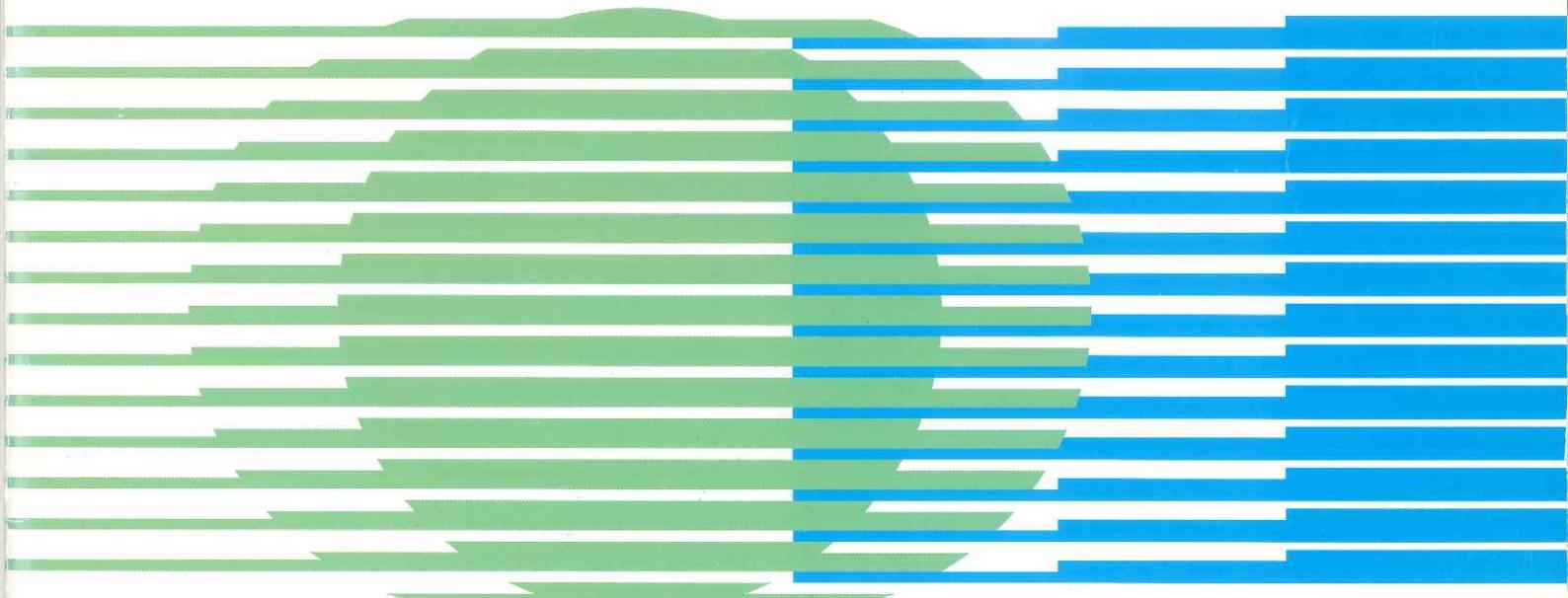


平成 6 年度表彰作品集

# 高松市都市景観賞



# 平成6年度 高松市都市景観賞について



高松市長 脇 信男

市民の皆様が、高松に住むことに愛着を持ち、また訪れる人が、魅力を感じる個性豊かな都市づくりを進めるためには、美しい自然環境や地域のシンボルとして親しまれてきた玉藻公園、栗林公園等の歴史的文化遺産の保全とともに、道路・水辺空間や建築物等の景観整備を図るなど、新たな都市景観の創造に努める必要があり、本市では、平成5年3月25日に都市景観条例を制定しました。

昨年4月からは、一定規模以上の建築物・工作物・広告物等の建築行為について、事前に届出いただき、景観に関する助言・指導を行う大規模建築物等の届出制度がスタートし、条例の本格的な運用が始まったところでございます。

さらに、都市景観形成の担い手である市民の皆様に都市景観づくりについての関心を持っていただくということで、優れた都市景観の形成に寄与している建築物等を表彰する「高松市都市景観賞」を平成6年度に創設しました。

今回は、第1回の都市景観賞でしたが、事務所・店舗・住宅・広告物等多岐にわたる応募があり、作品総数は54点で、表彰作品として、10点が選ばされました。

表彰された作品は、いずれも地域の景観と調和しながら、優れたデザインにより、まちの景観をリードしており、高松の魅力を高めるものばかりであり、本市の都市景観形成のテーマである「ロマンと碧のいきいき都市の創造」に向けて、大きな役割を担っているものと確信しております。

最後に、優れた作品をご推薦いただきました皆様を始め、今回受賞された皆様には、今後とも魅力ある都市づくりに向けて、先導的にご協力いただきますようお願いいたします。

また、この賞の選考にあたり、ご尽力いただきました選考委員の皆様には、深く感謝の意を表します。



## 選考総評

選考委員長 鳴海 邦碩

〈景観〉とは何かについてさまざまな考え方があるが、わたくしは〈見える環境〉のことだと理解している。〈見える環境〉を構成する要素は多岐にわたり、それらの調和が、魅力のある景観を形成することになる。景観を構成するさまざまな要素の中で、建築はとりわけ重要な要素である。

それではこの〈調和〉を、いったい、どう考えればいいのだろうか。それは、〈地域との調和〉と理解していいだろう。とすれば、地域にしっかりと文脈がある場合は、それに調和する必要がある。しかし、とりたてて参照すべきものないまだ開発中の地域などは、どうしたらいいのだろうか。その場合、わたくしは〈調和〉ということは、〈望ましい環境づくりへの参加〉ととらえるべきだと思っている。

さて、今回の応募点数は、総計54点にのぼり、その内訳は、事務所建築13点、店舗建築10点、共同住宅9点、個人住宅8点、広告物・ディスプレイ3点、その他11点であった。これらの応募作品について、書類による第一次選考で候補22点にしほり、現地視察をふまえた第二次選考によって10点を選考した。選考にあたっては、甲乙つけがたい作品もあり、熱のこもった議論が展開された。

今回の具体的な選考要件は次の3点である。

①まちの景観づくりおよび新しい都市景観の創造に貢献していること。

②伝統的なまちなみ景観および自然景観の保全に貢献するとともに、それらと調和していること。

③その他優れた都市景観の形成に貢献していること。

受賞作品の主な評価ポイントを紹介すれば次のようになる。

〈アルファシティ屋島〉〈サンメッセ香川〉が新しい都市景観づくりに貢献している作品、〈香川県自治会館〉〈志満秀高松店〉〈四電情報通信ネットワークセンター〉が新しい町並みづくりに貢献している作品、〈かな泉紺屋町店〉〈高松市図書館〉〈高松商工会議所〉〈M邸〉が、既存の町並みの中に組み込まれながら、優れた都市景観の形成に貢献している作品として評価された。また、〈高松興銀ビルウインドディスプレイ〉は、街通りに親しみと楽しさをもたらしていると評価された作品であった。

今回の受賞作品が景観づくりの新たな手本となり、高松市の都市景観がより豊かに形成されていくことに期待します。また、次回の都市景観賞の募集までに、より一層優れた作品が生み出され、豊かなコンテストとなることを望みたいと思います。

選考委員（敬称略・順不同）—— ◎ 鳴海 邦碩 大阪大学工学部教授

◎ 坂口 良昭 德島文理大学教授

○ 川井 稔 香川県建築士会専務理事

○ 五井 正憲 香川大学農学部教授（高松市花と緑の協会理事）

○ 犬飼 哲憲 香川県立高松工芸高等学校デザイン科

○ 監崎 道子 全日本写真連盟香川県本部

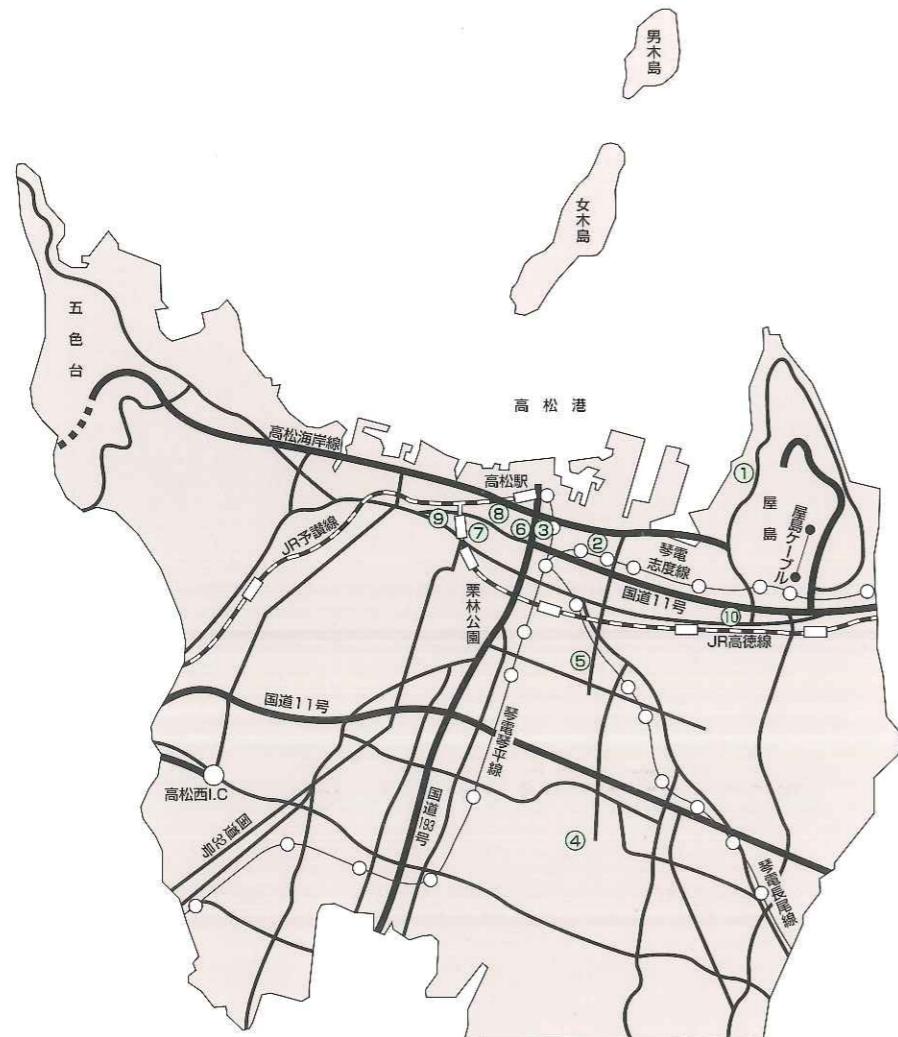
○ 神内 景夫 高松市美術協会会長

○ 川染 節江 香川県明善短期大学教授（第Ⅳ期たかまつ女性会議代表世話人）

○ 大嶋久仁男 高松市建設水道常任委員会委員長

○ 矢野 輝男 高松市助役

# 平成6年度高松市都市景観賞表彰作品



## 高松市都市景観賞

- ① アルファシティ屋島  
屋島西町678-30、678-83、2274-15
- ② 香川県自治会館  
福岡町二丁目3番2号
- ③ かな泉紺屋町店  
紺屋町9-3
- ④ サンメッセ香川（香川県産業交流センター）  
林町2217-1
- ⑤ 志満秀高松店  
今里町二丁目15番18号
- ⑥ 高松興銀ビルウインドディスプレイ  
番町一丁目6番8号
- ⑦ 高松市図書館  
昭和町一丁目2番20号
- ⑧ 高松商工会議所  
番町二丁目2番2号
- ⑨ M邸  
扇町三丁目13番6号
- ⑩ 四電情報通信ネットワークセンター  
春日町1735-3

# アルファシティ屋島



史跡天然記念物屋島を背景に、約1万坪の敷地に現在壱番館から参番館までの3つの建物が完成している。建物の形態は丘陵のスカイラインと調和し、外観の色彩も主にブラウンとグリーンで仕上げ、屋島の緑とうまく調和させている。

敷地内には、銀杏並木などの高木類から低木類まで13,000本以上の植栽が行われており、また、地中海の神殿を彷彿させるアーチ型を型どったコミュニケーション広場、サンライズガーデン、モニュメントなどが配置され、緑豊かで潤いのある空間を創出している。

所在地 —— 屋島西町678-30  
678-83  
2274-15

建築主 —— 穴吹興産(株)  
設計者 —— 穴吹工務店一級建築士事務所

施工者 —— (株)穴吹工務店  
大末建設(株)四国支店

用途 —— 共同住宅  
概要 —— 鉄筋コンクリート造  
地上7階  
建築面積1,705.01m<sup>2</sup>  
(壱番館)  
1,516.96m<sup>2</sup>  
(式番館)

1,148.05m<sup>2</sup>

(参番館)

延床面積8,554.55m<sup>2</sup>

(壱番館)

6,631.82m<sup>2</sup>

(式番館)

5,758.38m<sup>2</sup>

(参番館)

完成時期 —— 平成4年10月 (壱番館)

平成6年 3月 (式番館)

平成6年 5月 (参番館)

# 香川県自治会館



所在地 — 福岡町二丁目3番2号  
建築主 — (財)香川県市町村振興協会  
香川県国民健康保険団体連合会  
設計者 — 香川県建築設計協同組合  
施工者 — 鹿島・合田建設共同企業体  
用途 — 会議場・事務所  
概要 — 鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上9階  
建築面積2,746.32m<sup>2</sup>  
延床面積9,763.19m<sup>2</sup>  
完成時期 — 平成5年9月

瀬戸内海の海沿いを走る高松海岸線に面している。

周辺には公的建物が立ち並んでいるが、それらとよく調和がとれており、重厚さの中にも洗練されたモダンさを感じさせる建物である。

# かな泉紺屋町店



所在地 — 紺屋9-3  
建築主 — (株)うどんの庄かな泉  
設計者 — (株)寒川商業建築研究所  
施工者 — (株)藤木工務店四国支店  
用途 — 店舗  
概要 — 鉄骨造  
地上4階  
建築面積158.93m<sup>2</sup>  
延床面積584.25m<sup>2</sup>  
完成時期 — 平成2年3月

高松市美術館の西隣という立地を生かし、この文化的建築物を背景に美術館と同一の素材を配することにより、周辺環境をうまく取り込んでいる。また、店名マークを意匠として建物に表現するなど、店舗の立地条件を生かし、周辺環境と質的にもうまく調和させている。

# サンメッセ香川 (香川県産業交流センター)

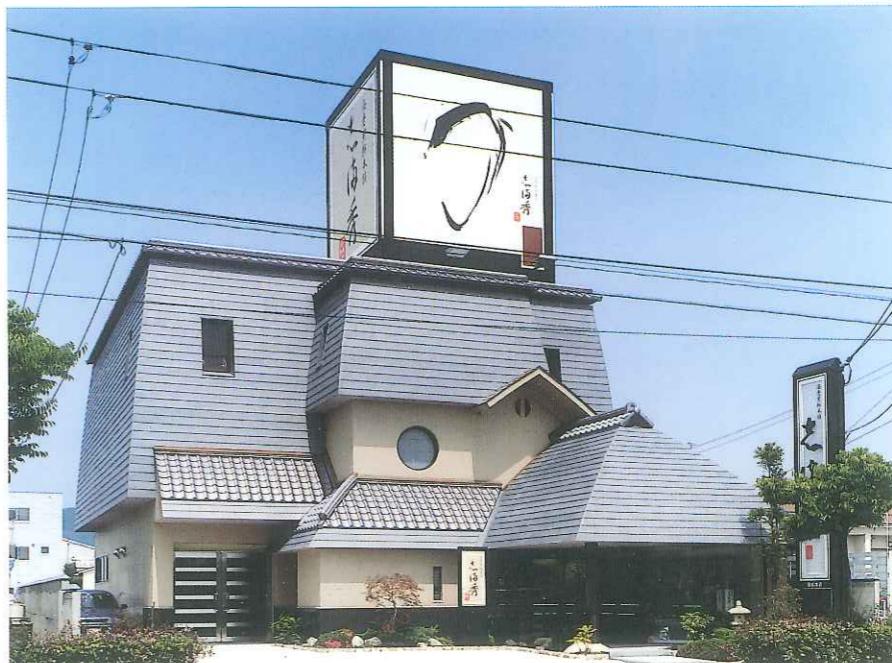


所在地 — 林町2217-1  
 建築主 — 香川県  
 設計者 — (株)東畑建築事務所  
 施工者 — 清水・飛島・小竹建設共同企業体  
 用途 — 展示場  
 概要 — 鉄骨鉄筋コンクリート造  
 地上3階／地下1階  
 建築面積9,212.525 m<sup>2</sup>  
 延床面積11,883.396 m<sup>2</sup>  
 完成時期 — 平成6年2月

面積32haという旧高松空港跡地で整備が進む技術・情報・文化の複合拠点「香川インテリジェントパーク」の中核施設として、屋内外の展示機能を備えた中四国屈指の総合コンベンション施設である。

豊かな緑と四季折々の花々に囲まれ、光と影が建物の表情を刻々と変化させるなど、人々に時間と自然を意識させる建物である。

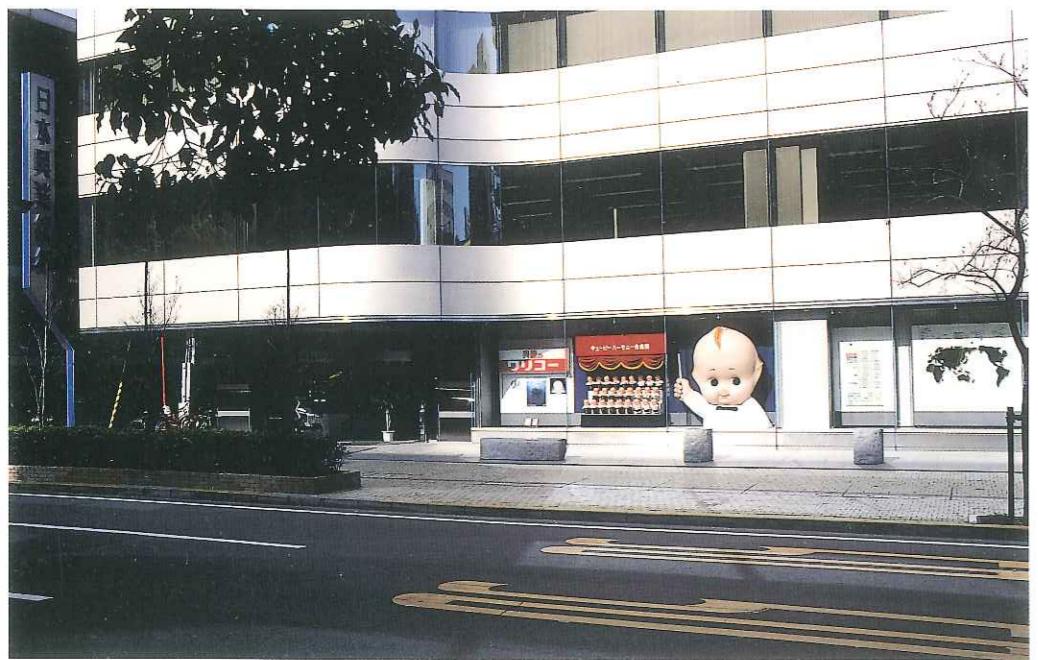
# 志満秀高松店



所在地 — 今里町二丁目15番18号  
 建築主 — (株)志満秀商事  
 設計者 — (株)合田工務店一級建築士事務所  
 施工者 — (株)合田工務店  
 用途 — 店舗・事務所  
 概要 — 鉄骨造  
 地上3階  
 建築面積233.67 m<sup>2</sup>  
 延床面積598.09 m<sup>2</sup>  
 完成時期 — 平成4年6月

店舗の造りが和風を意識したデザインとなっており、植栽も日本庭園風に配置されている。屋上広告などの広告類も必要以上に色を使わず、商品イメージであるえびをさりげなくデザインするなど、瀬戸の風土との一体化とともに、見る人の誰もが心を和ませ、リラックスできる建物である。

# 高松興銀ビルウィンドディスプレイ



銀行のマスコットを題材にした日本一大きなキューピーとともに、キューピーハーモニー合唱団をステージに作り、楽しそうに動いている。通りを歩く人々の目を引き付け、銀行のPRとともに景観づくりにも貢献した作品である。

所在地 — 番町一丁目6番8号  
建築主 — (株)日本興業銀行  
設計者 — (有)ケン企画  
施工者 — (有)ケン企画  
完成時期 — 平成3年11月

# 高松市図書館



所在地 — 昭和町一丁目2番20号  
建築主 — 高松市  
設計者 — (株)梓設計大阪支社  
施工者 — 大成・大林・鴻池・合田建設共同企業体  
用途 — 図書館・資料館  
概要 — 鉄筋コンクリート造  
地上5階／地下2階  
建築面積2,629.62m<sup>2</sup>  
延床面積12,274.71m<sup>2</sup>  
完成時期 — 平成4年3月

高松市制100周年記念事業の一環として、高度情報化社会における情報拠点として建設された建物。

この建物は、狭い敷地の中でシースルーの被膜(ガラス)を通して、外部と内部を一体化し、内部の活動が表側に視覚化され、ショールーム的な役割を果たしており、周囲に柔らかく開かれたものとなっている。

# 高松商工会議所



所在地 — 番町二丁目2番2号  
建築主 — 高松商工会議所  
設計者 — (株)日建設計  
施工者 — 西松建設(株)四国支店  
用途 — 会議場・事務所  
概要 — 鉄骨鉄筋コンクリート造  
地上6階／地下1階  
建築面積1,310.95m<sup>2</sup>  
延床面積5,720.72m<sup>2</sup>  
完成時期 — 平成3年2月



色彩はブラウンをベースとし、屋根の色とうまく調和させている。都会的な洗練されたデザインが印象的であり、周辺環境にもうまく溶け込んでいる。

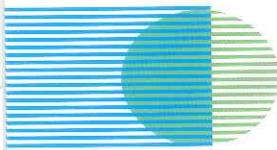
# 邸



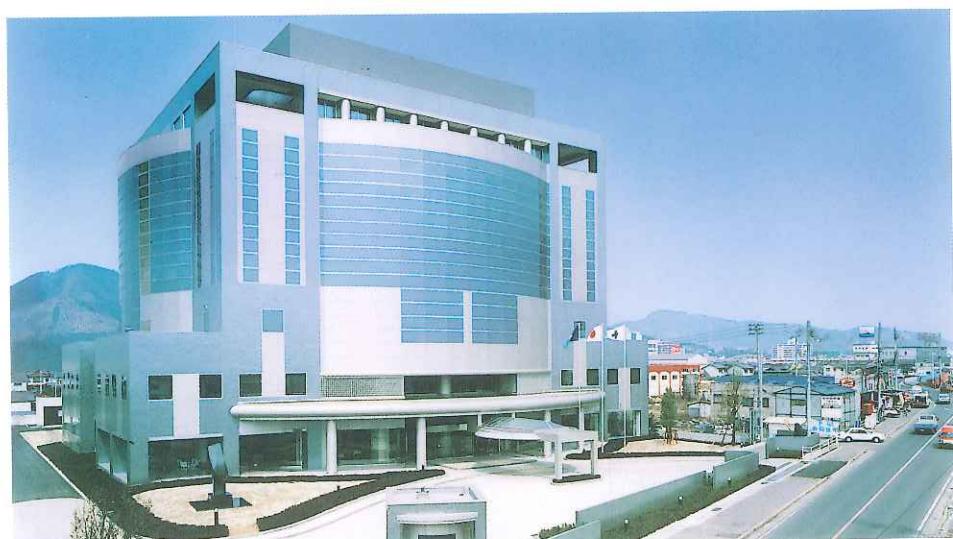
所在地 — 局町三丁目13番6号  
建築主 — RM建築設計事務所  
設計者 — (株)誠工務店  
施工者 — 個人住宅  
用途 — 鉄筋コンクリート造  
地上3階  
建築面積50.35m<sup>2</sup>  
延床面積138.67m<sup>2</sup>  
完成時期 — 平成3年6月



住宅密集地に建つ3階建ての住宅。  
周辺の低層部が多い町並みに調和させるため、3階部分はセッットバックし、周辺に圧迫感を感じさせない造りとなっている。また、伝統的な瓦屋根、堀瓦、スチールの駒寄せとコンクリート打ち放しをうまく融合させている。



# 四電情報通信ネットワークセンター



所 在 地	— 春日町1735-3
建 築 主	— 四電産業(株)
設 計 者	— 大成建設一級建築士事務所
施 工 者	— 大成建設(株)四国支店
用 途	— 事務所
概 要	— 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階 建築面積3,250.42m <sup>2</sup> 延床面積15,037.15m <sup>2</sup>
完成時期	— 平成4年2月

近代的な建物外観で、新川側から見た河川景観にも配慮したデザインとなっており、地域のランドマーク的な存在となっている。また、歩道側にも植栽を十分に配置するなど、緑豊かな空間を創出している。

建物はかなり大きいが、十分セットバックしており、必要以上に圧迫感を感じさせないよう配慮されている。

## **平成6年度高松市都市景観賞表彰作品集**

発行日／平成7年3月 編集・発行／高松市都市開発部都市計画課